

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	尾内 理紀夫		
居室	西9-737		

公開E-Mail	授業関連Webページ
onai@cs.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
コンピュータの動きを理解し, 使いこなせるようにする. 使用するソフトウェアは主としてUNIXを用いる.

【前もって履修しておくべき科目】
なし.

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし.

【教科書等】
特になし

【授業内容とその進め方】
<p>講義時間割の前半で, 以下の点についての講義と演習を行う. その後は, 2学期のC言語を用いる「基礎プログラミングおよび演習」を前倒しして行う.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ログイン, ログアウト---ログイン名, パスワードの概念の理解と, 設定 2. エディタによるファイルの作成 3. シェルとファイルシステム 4. 電子メールの受信と送信 5. ホームページの閲覧と作成 6. ネットワークコマンド 7. ウィンドウシステム 8. 文書の作成と印刷---TeXで自由に文書が作成できるようにする.

電気通信大学 平成20年度シラバス

9. コンピュータを用いた問題解決
10. Cプログラムの構造, 計算と結果の表示
11. 基本データ型, 変数
12. 9~11に対応する演習
13. 基本的制御構造---繰返し
14. 基本的制御構造---場合分け
15. まとめ

課されたレポートはすべて提出する必要があるので、授業時間外の学習(予習・復習等)はそれに対応して行うこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

講義の出席回数 (30%), 提出されたレポートの内容 (70%) から評価する。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

(1) 講義の80%以上に出席し、課されたレポート数のすべてを提出していること。

(2) 与えられた課題の内容を理解して必要に応じてコンピュータ上で実行し、結果に関する考察がきちんとされていること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、事前に電子メール等で日時を決めること。

【学生へのメッセージ】

コンピュータを使いこなすことは、情報工学科の学生にとって必要不可欠である。これができないとその後の勉学、研究に差支えることを肝に命じて欲しい。

【その他】

なし。